

# すぎのこ.たより

金山杉住宅をつくる会 会報 創刊号

金山杉住宅をつくる会の活動や金山杉のふるさと情報などを発信して、会員の方々との交流の場になれるように、発行いたします。

金山杉住宅をつくる会 <http://kaneyamasugi.jp>

会報編集委員会

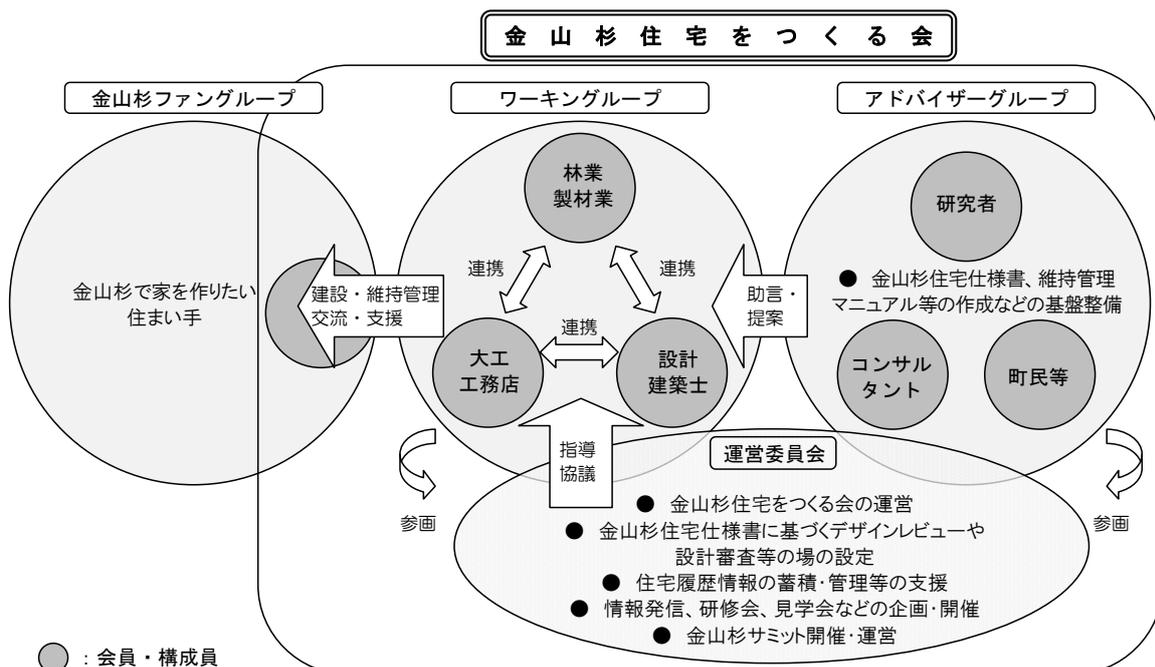
## 1. 「金山杉住宅をつくる会」発足の経緯

近年、新設住宅着工戸数が45年ぶりに80万戸を割り込み極めて厳しい状況を呈した住宅市場は、平成22年度においても着工戸数は前年対比3.1%の伸びに止まり、今後とも地域材の活用には依然として厳しい年が続くことが想定されます。

金山町では、昭和59年度の地域住宅計画の策定以来、地場産材である良質な金山杉を用いた金山の伝統的な街並み景観にあった金山型住宅の普及に努力してきたところです。

しかし、昨今の新規住宅着工数が激減するなか、町内においても住宅需要が減退するとともに大手ハウスメーカー等による住宅供給も見られるようになり、このままでは金山杉の需要が減少し、これまでに努力して整えた金山杉の供給システムが機能しなくなることが懸念され、平成22年に地元設計者の発案で（独）建築研究所の指導・助言を得て、全国で地域に根ざした住まいづくりを実践している専門家、環境計画の専門家とともに、全国を視野に見据えた良質な地域材としての「金山杉住宅仕様書」の作成と「金山杉の供給システム」を開発することに至りました。

継続して平成22年度の地域木造住宅市場活性化推進事業にも参画し、エンドユーザーも参画する「第1回金山杉サミット」を開催いたしました。その翌日に、当会初年度の総会が開催され、このサミットを節目に会員相互の努力と協力により金山杉住宅仕様書に基づいた、木が見える、健康で長持ちする「金山杉住宅をつくる会」としてのスタートを切りました。



## 2. 活動履歴

- 平成 21 年度 1. 国交省 H21 地域木造住宅市場活性化推進事業
- ① 金山杉住宅仕様書の構築
  - ② 金山杉原産地証明システムの構築
  - ③ 金山杉の品質証明・表示手法の構築
  - ④ 情報提供の体制の構築
- 平成 22 年度 1. 国交省 H22 地域木造住宅市場活性化推進事業
- ① 金山杉住宅の普及促進体制の構築と住宅フェアの開催
    - a. 沖縄県宮古島 「赤瓦の伝統的家屋」 7 棟の完成内覧会  
平成 22 年 7 月 10 日～11 日 (2 日間 : 延べ 400 人)
    - b. **第 1 回金山杉サミットの実施**  
平成 22 年 9 月 18 日～19 日 (2 日間 : 延べ 195 名)
    - c. **金山杉住宅をつくる会の発足**  
平成 22 年 9 月 18 日 19 日 (サミット開催後発会式)
  - ② 金山杉住宅維持管理マニュアルの作成
    - a. 定期点検帳
    - b. 住まい手による木の家のお手入れ帳
    - c. 履歴保存帳
  - ③ 金山杉を使った既存住宅の性能調査
  - ④ 新築金山杉住宅の性能の実証
- 平成 23 年度 1. 長期優良住宅先導事業
- ① 山形県金山町・天童市で 2 棟 実施 (阿部建築研究室・廣設計室)  
3 ページ以降で事例報告を掲載いたしますので、参照ください。
2. フクシマの復興支援を考える会  
平成 23 年 5 月 6 日 郡山 ビックアイ 7 階市民交流プラザ第 1 会議室
3. 国交省 H23 大工育成講座 マイスタジオ主宰 (参加・支援)  
座学・実技講座 平成 23 年 10 月 30 日～11 月 12 日午前中まで  
伝統工法講座 平成 23 年 11 月 13 日～20 日
4. **第 2 回 金山杉サミットの実施**  
平成 23 年 11 月 12 日～13 日 (2 日間 : 延べ 145 人)
- 平成 24 年度 1. 復興住宅「絆の力」
- ① 地域住宅生産者グループ会議 (第 1 回～継続参加・第 6 回 6 月 9 日)  
追って、会報でお知らせいたします。
2. 平成 24 年度 地域型住宅ブランド化事業※の応募申請書提出  
(原木供給：4 社、製材・建材供給：2 社、設計：6 社、施工：12 社)  
※採択後の追加希望者については、事務局にご相談ください。
3. **第 3 回 金山杉サミットの実施 (予定)**

### 3. 長期優良住宅事例 1

#### ■設計監理

阿部建築研究室 阿部利広  
URL <http://www.aads.info/>  
Email [architect@aads.info](mailto:architect@aads.info)  
〒999-5406 山形県最上郡金山町大字山崎 327  
電話 0233-52-2318 FAX 0233-52-2098

#### ■建物の概要

木造2階建て 在来塾組み工法  
敷地面積：431.90 m<sup>2</sup> (130.67 坪)  
建築面積：151.21 m<sup>2</sup> ( 45.65 坪)  
延床面積：221.93 m<sup>2</sup> ( 67.00 坪)  
1 階：135.81 m<sup>2</sup> ( 41.00 坪)  
2 階： 86.12 m<sup>2</sup> ( 26.00 坪)

#### ■施工業者

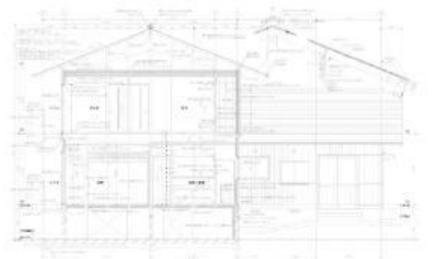
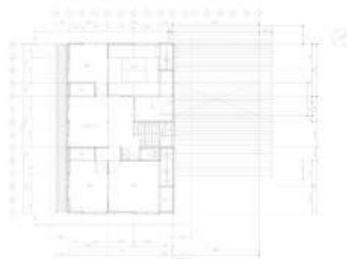
(有) 小野工務店 電話 0233-52-7000

#### ■納材業者

金山町森林組合 電話 0233-52-2840

#### ■事業の経過

平成 22 年	9 月	設 計
平成 22 年	12 月	国交省長期優良住宅先導事業採択決定 金山杉住宅
平成 23 年	3 月	長期優良住宅認定 工事着工
平成 23 年	7 月	上棟式
平成 23 年	9 月	構造内覧会 (金山杉住宅検討委員会、神室産業高校)
平成 23 年	9 月	芋煮会
平成 23 年	11 月	完成内覧会 (第2回金山杉サミットほか)
平成 23 年	12 月	長期優良住宅先導事業完成検査
平成 24 年	1 月	金山町住宅建築コンクール 優秀賞受賞
平成 24 年	2 月	補助金交付申請



阿部建築研究室

## ■建物の紹介

金山杉住宅仕様で造った長期優良住宅で、金山杉・土（珪藻土、漆喰）・石・紙など、全て自然素材で造った典型的な金山杉住宅となっています。

屋根は雪下ろし作業軽減するために、自然落雪屋根とし、落雪方向に対して入口を造らないなどの工夫をしています。

公道と敷地・地盤面の段差でできた空間を利用して、物置などの収納も造り、床下設備配管の維持管理を容易にする工夫をしています。

風除室付の玄関は、来客用と家族用に分け、普段使いを便利にしています

内部の仕上げは、床に金山杉板厚30mm、壁を珪藻土塗り、天井が金山杉板厚10mm×150で、木部は自然塗料の子供用玩具の積み木にも塗られている浸透性のものを使用しています。

建物の南側に独立構造の木製テラスをつけて、各フロアの屋外との繋がりを確保しながら建物本体から独立させることで、将来の維持管理の容易さにも対応しています。

耐震性を通常の1.25倍にした耐震等級2、省エネルギー性は等級4の次世代省エネ基準をクリア、さらに、高齢者等配慮対応等級3を確保しながらバリアフリーにも配慮しています。

## ■進捗状況



旧母屋



地鎮祭



材料検査：含水率・強度測定  
阿部建築設計室・小野工務店



初顔合わせ 全体工程会議



刻み加工



施工開始：土台敷き



棟上げ



上棟式準備



新庄神室産業高等学校  
建築・環境学科の内覧会



第2回金山杉サミット 内覧会



バルコニー側より



施主様の笑顔

## 4. 長期優良住宅事例 2

### ■設計監理



中 村 廣  
〒990-2451  
山形市吉原3丁目12-16  
TEL 023-647-8555  
FAX 023-647-8556  
E-mail: info@hiro-sekkei.com  
URL: http://www.hiro-sekkei.com/

### ■施工業者

(有) 中村建築 電話 023-672-4420

### ■納材業者

金山町森林組合 電話 0233-52-2840

### ■建物の概要

構造: 木造2階建  
建築面積: 100.93㎡  
延床面積: 140.35㎡ (42.45坪)  
1階床面積 86.53㎡ (26.17坪)  
2階床面積 53.82㎡ (16.28坪)  
主な設備:  
暖房 / ヒートポンプ式温水暖房機  
給湯 / エコキュート(電気温水器)  
換気 / 集中換気システム(第一種)

## 山元の家設計にあたって



山元の家は、山形の木“金山杉”をふんだんに使い、随所に自然素材を表わした、金山杉先導モデル住宅です。

### 1. 金山杉住宅長期優良住宅先導モデル事業採択住宅

設計は3年ほど前から進んでいました。検討委員会で、指摘を受けたのは2階の黒のガルスパンです。その、良否について賛否両論がありましたが、長期優良住宅の技術基準、住宅性能表示制度等を審査のうえ、その基準をクリアしました。一部、手摺りのデザインなど軽微な変更をすることで、上手くまとまりました。

### 2. 大きな吹抜

先導モデル事業の選択基準の中に“オープンな間取り”という項目がありましたが、「山元の家」では、大きな吹抜を6坪ほど設け開放的な空間をつくりました。今回の様な、階段のDETAILは初めてだったので、面白くできたと思います。

### 3. 梁表わしのデザイン

地震に対する火打梁を表わしたくなかったので、昔の民家のように大梁、小梁を表わしで金山杉小巾板  $t=10.5$  を構造用合板  $t=28$  に貼合せ、パネル化して水平構面として施工しました。

### 4. ヒートポンプ床下暖房

暖房の熱源を検討する段階で、石油・電気・ガスと区別し、その施工基準面を床上・床下と分別するに当たり、床暖房では床面がじりじり熱くなります。床下暖房ならホンワカ暖かい感じがします。以上のことから、床下断熱の快適性が良いので、“これから主流になるシステム” と思います。熱源の選定では、省エネ基準に準じ、電気のヒートポンプ式床下暖房を採用しました。



玄関周りの夜景



バルコニーより天童市街地を眺める



居間に隣接した和室（8畳）



2階より食堂を見る



2階 寝室



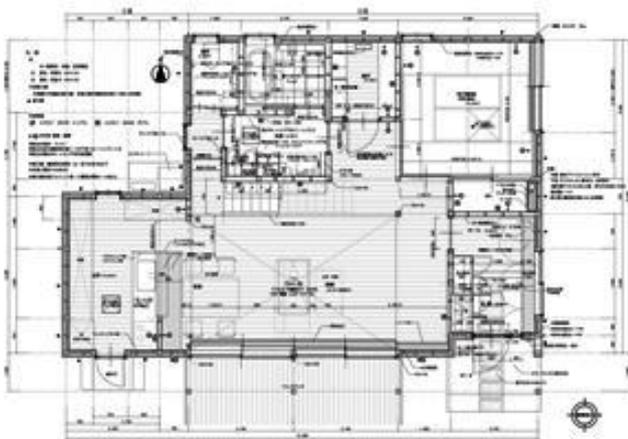
2階 アトリエ



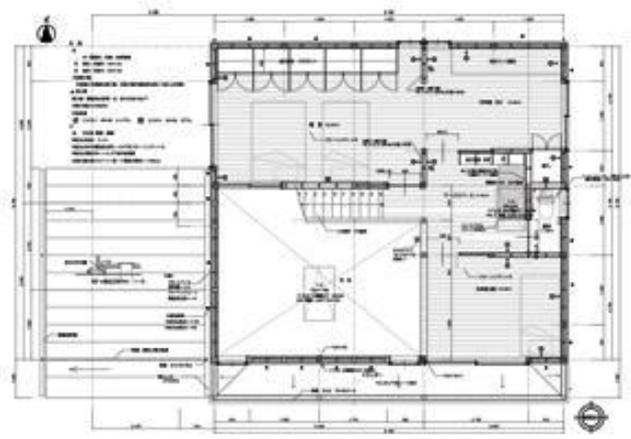
階段を見上げる



便所側より食堂を見る



1階平面図



2階平面図

平成 24 年 6 月 18 日発行

**金山杉住宅をつくる会**

会長 阿部利広

URL <http://www.kaneyamasugi.jp>

Email [info@kaneyamasugi.jp](mailto:info@kaneyamasugi.jp)

事務局 金山町森林組合

編集 杉井範之

電話 0233-52-2840 FAX 0233-52-2740

Email [sugii@kaneyamasugi.com](mailto:sugii@kaneyamasugi.com)